

【活動日誌262】韓国からお越しの学生さんの見学を受け入れました

韓国の大田保健大学(Daejeon Health University)から学生さんと先生、通訳の方がお越しになり、博物館を見学されました。学生の皆さんは韓国で動物看護師(動物保健師)になる勉強をされているそうです。

当館の中で最初に整備された自然系展示室では、博物館の設置の経緯を紹介するとともに、コンセプトである里山に暮らす身近な野生動物について紹介しました。次に見学した歴史系展示室では、開国後の獣医師の需要の高まりから本学が開校したという歴史を紹介するとともに、開校当時に使われていた教科書を紹介しました。最後に、6月21日から始まったミニ展示「長次郎の再出発」を御覧いただき、解散となりました。

普段から動物について学ばれていることもあり、自然系展示室の展示内容に特に興味を持たれたようです。「どういった経緯で剥製となったのか」「展示してある剥製は成獣なのか?」「歯が抜けている骨格標本があるが、なぜなのか?(年齢査定のため展示中のニホンザルの頭蓋骨は切歯を抜いてあります)」など、たくさんの質問をお受けしました。また、日本では里山の環境の変化に伴いイノシシの被害が増えていることを紹介すると、韓国でも同じような問題が生じていると教えていただきました。

団体での見学の場合、ご要望いただいた方を対象に学芸員が解説を行います。事前の申し込みが必須となりますので、興味のある方は「来館案内」をご確認のうえ、入力フォームよりお問い合わせください。

※団体の人数や希望される時間によっては解説ツアーを実施できない場合がございますので予めご了承ください

(学芸員 石井)

#日本獣医生命科学大学 #博物館 #登録博物館

■来館案内

<https://www.nvlu.ac.jp/universityi.../004/access/index.html/>

団体見学をご希望の方は「開館情報」部分の「団体見学のお申込みについて」をお読みになり、お問い合わせください。

2025年8月2日の記事



- ① 野生動物が暮らす里山の変遷を紹介する様子
- ② 自然系展示室ではコウノトリの剥製を展示しており、この個体は韓国に3回飛来したことが確認されています
- ③ 大学史の解説の様子

【学内の生き物17】ニホンヤモリ

ニホンヤモリは、日本ではおもに本州・四国・九州に生息するヤモリ科ヤモリ属の爬虫類の1種です。以前は国内に分布するヤモリ属の種が本種のみと考えられていたため(その後タワヤモリ、ヤクヤモリ、ミナミヤモリなど別種の生息が確認されています)、ただ「ヤモリ」とだけ呼ばれることがあります。

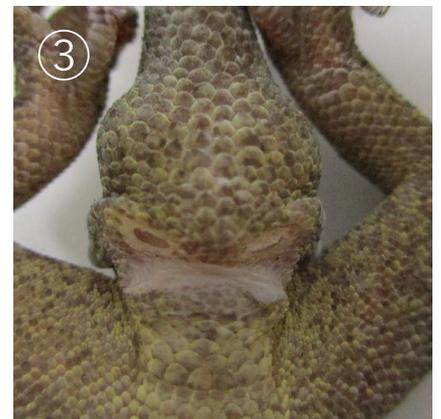
写真の個体は本学の第一校舎の中庭部分で発見したものです。死因は調べていませんが、まだ死亡してそれほど時間が経っていなかった様子でした。

都市部の民家やその周辺に生息し、夜行性で、餌となる昆虫やクモなどを食べるために灯火の周囲で見られることがあります。発見場所は中庭に設置されている街灯の近くだったため、夜そこで餌を食べたあとに何らかの理由で死んでしまったのかもしれませんが。

日本に広く分布する種ですが、一部の地域では個体数が減少して絶滅危惧種に指定されています。東京都では23区内でVU(絶滅危惧II類)、東京の本土部全体ではNT(準絶滅危惧種)に指定され、個体数の減少が心配されています。

(学芸員 廣瀬)

#日本獣医生命科学大学 #博物館



- ① 発見時の様子
- ② 尾の基部に尾の先に向けてMの字のように見える模様があることが本種の特徴の1つです。
- ③ 尻尾の付け根部分が太くなっているのが雄の特徴です。
- ④ 後ろ脚にほかの鱗よりも大きさの大きい鱗が混ざっているのが、ほかの種のヤモリとの違いの1つです。

【活動日誌263】中学生の団体見学を受け入れました

当館では、学芸員による解説付きの団体見学を受け入れています。先日は東村山市立東村山第三中学校 自然探究部の皆様が博物館の見学にいらっしゃいました。

当日は、博物館が活用している一号棟と各展示室の見どころを45分ほどご案内し、その後は自由に館内をご見学いただきました。自然探究部の皆さんということで、特に自然系展示室の展示内容に興味を持っていただけたようです。野生動物の見分け方や、液浸標本の作り方など、展示を見て興味を持ったことについて質問をお受けしました。

団体見学をご希望の方は、来館希望日の3週間前までのお問い合わせをお願いしています。都合により開館日であっても団体見学をお受けできない場合や、スタッフによる解説ができない場合がございますが、まずはお気軽に当館までご相談ください。

(学芸員 石井)

■来館案内

<https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/004/access/index.html/>

団体見学をご希望の方は「開館情報」部分の「団体見学のお申込みについて」をご確認のうえ、申込みフォームよりお申し込みください。

■2025年7月31日(木)に「東村山市立東村山第三中学校 自然探究部」が博物館を見学しに来校しました。

<https://www.nvlu.ac.jp/news/20250731-01.html/>

大学公式サイトでも当日の様子を紹介しています。



① 一号棟入口での建物解説の様子

② ミニ展示「長次郎の再出発」での解説

展示の詳細はこちら <https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/news/20250602-02.html/>

③ ミニ展示「日獣大アシカ展 ～なぞの標本と日本の鱈脚類～」での解説

展示の詳細はこちら <https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/news/20250623-01.html/>

【活動日誌264】

ワークショップ「武蔵野動物観察隊5 “一号棟のキリン”と日獣大探検ツアー」に講師として参加しました

8月7日に武蔵野市教育委員会が主催する「むさしの発見隊」として「武蔵野動物観察隊5 “一号棟のキリン”と日獣大探検ツアー」が本学にて開催されました。武蔵野ふるさと歴史館との連携事業の一貫として、本イベントの講師を当館スタッフ2名が担当しました。

イベント当日は、武蔵野市内在住・在学の小学生の皆さんにお越しいただき、本学にある特徴的な2つの実習室(食品製造実習室・模擬動物病院)と博物館を案内しました。武蔵野ふるさと歴史館との連携事業はこれまでも複数回実施していますが、本学全体を会場としたイベントは今回が初めてです。

当日の様子の詳細は、後日当館公式サイトにて掲載する予定です。どうぞお楽しみに。

(学芸員 石井)

#教育普及 #日本獣医生命科学大学 #博物館 #地域連携

■【活動日誌238】武蔵野ふるさと歴史館との打ち合わせ

<https://www.facebook.com/nvlu.wildlife.museum/posts/pfbid0x6hirc6vNXZ9iqnTGrgg7orpDZfGmWegquvdUc9UJyc1xN7wu5xformBYm6n1Setl>

4月に行った打ち合わせの様子はこちら



- ① 本学全体を会場としたため、最初に校名の紹介を行いました
- ② 食品製造実習室では食品科学科乳肉利用学教室の三浦孝之准教授に缶詰の作り方のデモンストレーションをしていただきました(食品科学科 <https://www.nvlu.ac.jp/food/>)
- ③ 模擬動物病院では獣医保健看護学科臨床検査学研究分野宮田拓馬准教授に聴診器の使い方をレクチャーしていただきました(獣医保健看護学科 <https://www.nvlu.ac.jp/veterinary-nursing/>)
- ④ 博物館では現在開催中のミニ展示「長次郎の再出発」と自然系展示室を案内しました

【活動日誌265】アシカの1種のCT撮影動画を公開します

ミニ展示「日獣大アシカ展～なぞの標本と日本の鰭脚類～」が開催から1か月となりましたが、皆さん既にご見学いただけましたでしょうか。本ミニ展示では、鰭脚類(アシカ科・アザラシ科・セイウチ科の動物)の中でもアシカ科の動物を主役として展示をし、当館が所蔵するアシカ科の1種の全身骨格標本について、頭蓋骨および歯の形態の観察から分かってきたことをとりまとめて紹介しています。

この全身骨格標本の頭蓋骨について、国立科学博物館にご協力いただきCT撮影を行ったのですが、その画像を使って作成した動画を、今週末23日土曜日・24日日曜日に開催される本学のオープンキャンパスからご覧いただけるよう準備を進めています。

夏休みも後半となりましたが、まだミニ展示をご覧になっていない方も、もう見た方も、ぜひ当館まで足をお運びください。

(学芸員 廣瀬)

#アシカ #日本獣医生命科学大学 #博物館

■【お知らせ】ミニ展示「日獣大アシカ展 ～なぞの標本と日本の鰭脚類～」開催

<https://www.nvlu.ac.jp/universityi.../news/20250623-01.html/>

ミニ展示の詳細情報はこちらをご参照ください



- ① 映像を表示するデジタルサイネージを配置するために、展示の配置を調整している様子
- ② 動画は現在最終調整中です。23日の特別開館からはこのデジタルサイネージで頭蓋骨を横回転と縦回転させた動画をご覧いただけるようになる予定です。ケース内に置かれた状態では見ることができない下からの画像や後ろ側の画像もしっかり見ることができますのでどうぞ楽しみに。

【活動日誌266】

本日・明日はオープンキャンパスにあわせて開館しています

本日8月23日(土)、明日24日(日)は本学のオープンキャンパスが開催され、当館も特別開館を実施しています。本日は暑い中、朝からたくさんの方が博物館に来てくださっています。

両日とも、1日2回(10:00～10:20/11:00～11:20)、E棟2回中教室にて、博物館の特別解説を実施しています。こちらでは、当館学芸員が博物館の概要や現在の展示について解説しており、見学前にお聞きいただくと、より楽しく展示をご覧いただける内容になっております。

日曜日は通常休館となっておりますが、明日は10:00～16:00の間開館いたします。博物館の見学のみでしたらご予約も不要ですので、興味のある方はこの機会にぜひ博物館まで遊びにいらしてください。

※来館・見学は予約不要、特別解説の聴講は「ニチジュウNAVI」より要予約

#日本獣医生命科学大学 #博物館 #大学祭 #オープンキャンパス

(学芸員 石井)

〈8月23日(土)・24日(日)開館情報〉

見学をご希望の方は1号棟1階博物館見学受付までお越しください

- ・見学受付開始…10:00
- ・見学受付終了…15:30(閉館16:00)

■ニチジュウNAVI オープンキャンパス 8.23(土)・24(日)

<https://www.nvlu.ac.jp/nichijyu.../event2025/0823/index.html>

オープンキャンパスの詳細情報や申込みについてはこちら



- ① 正門入ってすぐのところにある博物館の看板
- ② 学芸員による特別解説の様子
- ③ ミニ展示「長次郎の再出発」も大人気です

【活動日誌267】2025年度学芸員課程実務実習：標本の作成2

4月以降、学芸員課程履修生による学内実習(実務実習)を行ってきましたが、7月に今年度最後の実務実習が終了しました。最後の実務実習のテーマは「自然史資料の収集・資料化」です。

この実習は「活動日誌255」で紹介した実習の2回目に当たるものです。1回目の実習では植物標本を作成するために必要な植物の採取・乾燥と、昆虫標本を作成するために必要なチョウの展翅を行いました。2回目の実習ではこれらに続く作業をご指導いただきました。

1回目の実習で採取した植物は、水分を吸収するために新聞紙に挟み込んだ状態で各自が持ち帰り、2回目の実習までの間にしっかりと乾燥させてあります。実習当日は乾燥させた植物を台紙に貼り付け、必要な情報を記入したラベルを添えて標本を完成させました。チョウの標本にもラベルを添え、希望者は持参した容器に標本を固定し持ち運べる状態にして完成としました。

今年度の実務実習はこれにて終了となりますが、来年度も引き続き学芸員課程の活動をfacebookにて紹介していきたいと思えます。

(学芸員 石井)

#博物館実習 #日本獣医生命科学大学 #博物館



- ① 乾燥時に植物の形を整えておき、植物の特徴がわかりやすいように台紙に貼り付けて行きます(写真は昨年度の実習時に撮影したもの)
- ② 完成した植物標本(写真は昨年度の実習時に撮影したもの)
- ③ チョウの標本を箱に収める様子
- ④ 希望者は持参したケースにチョウの標本を入れて持ち帰りました

2025年8月28日の記事

★今年度の実務実習の様子は下記の記事をご参照ください

【活動日誌 240】学芸員課程実務実習説明会

<https://www.facebook.com/nvlu.wildlife.museum/posts/pfbid02mkNtTzgQHyEGcYdSqdjnHKhmustH8oU2FwjSGVWrwyaG4SPDoKfNZEkRxSg6MVGMI>

【活動日誌 245】2025年度学芸員課程実務実習：資料の整理

<https://www.facebook.com/nvlu.wildlife.museum/posts/pfbid031hCtMbURDdPKy74ZFuQCjASD7orgmAyaqKYcv6ZwXMvycR2g7n6aSV1tC76Zepygl>

【活動日誌 246】2025年度学芸員課程実務実習：展示の立案

<https://www.facebook.com/nvlu.wildlife.museum/posts/pfbid0DrNwoc9uvemhgiEuf5p1ACdRsXDtEZvb5beG1MqCJhJ9fJKcitgYMJKL886JGWJ4I>

【活動日誌 255】2025年度学芸員課程実務実習：標本の作成

<https://www.facebook.com/nvlu.wildlife.museum/posts/pfbid02UVjK5QZxxPXANevZuqFAohvfW9b6HCokJrimxZPeBMXoGKhjSJgtwSKTFUzFaVjil>

【活動日誌 256】2025年度学芸員課程実務実習：掛け軸の取り扱い

<https://www.facebook.com/nvlu.wildlife.museum/posts/pfbid02BinCHFUR9hUPyKsFY9MvxvSpBEh7cYFvxBoDUjRMTssqysp8nYSmwbRKU1qS4MVPI>

【活動日誌 258】2025年度学芸員課程実務実習：本の展示技術

<https://www.facebook.com/nvlu.wildlife.museum/posts/pfbid0dD483qnEuWZNXRWZKzZDYswpoCfWRriBYidTnHKvYNxRoFrWygtc6navU94C1WsGI>

【活動報告268】昆虫標本のデータ整理を進めています

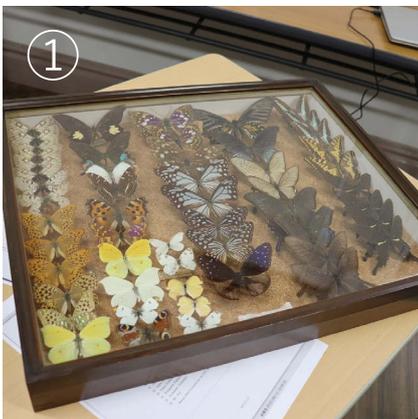
当館では、動物の標本を幅広く収集していますが、その中には昆虫標本も含まれています。数年前には、本学で学芸員課程を履修していた学生から、学生のご家族の方から相談を受けたとのことで、戦前に収集されたチョウ(一部ガを含む)標本をドイツ箱2箱分寄贈いただきました。これらは戦前の日本周辺で採集された貴重な標本で、寄贈者の方が大事に保管してくださっていたらしく、そこまで標本の状態が悪化していませんでした。

今回、本学のサークル野生生物研究会に所属する学生のみなさんの協力を得て、これらのチョウの標本のデータ整理をすることとなりました。あいにく作業日は前日の雨で湿度が高かったため、ドイツ箱を開けずに上から見える範囲でラベルの情報を読み取り、またラベルの付いていないものを含めて標本の種同定も行いました。

今回はすべての標本のラベルを確認できなかったため、次回はドイツ箱を開けてラベルの再確認と、必要に応じて標本の差し直し等の作業を進める予定です。

(学芸員 廣瀬)

#チョウ #日本獣医生命科学大学 #博物館



- ① 情報を整理したドイツ箱の一つ。今では個体数が減ってしまったチョウや、当時台湾で入手したと思われる外国産のチョウなども含まれています。
- ② ドイツ箱越しに光を当てて、チョウの下のラベルの情報を記録している様子。
- ③ ラベルに種名の記載のないチョウについては、図鑑で調べて種の同定も行いました。